

第24回公衆衛生情報研究協議会関連会議

若手のための疫学研修会

—サーベイランスの考え方、データの解釈と評価の方法—

- 【日時】** 平成23年1月21日（金） 13:30～16:00
- 【場所】** 名古屋市工業研究所 第2会議室第2室
<http://www.nmiri.city.nagoya.jp/index.htm>
- 【テーマ】** サーベイランスの考え方、データの解釈と評価の方法
- 【講師】** 谷口 清州
国立感染症研究所感染症情報センター 第一室（感染症対策計画室）
島田 智恵
国立感染症研究所感染症情報センター 第二室（感染症情報室）
- 【目的】** 感染症発生動向調査を正しく理解し、適切な情報を住民に提供するためにまた正しい解釈のもとで自治体の感染症対策等にデータを活用することを目的として、
1. 定点把握サーベイランスの目的、背景やデザインなどを理解する
 2. サーベイランスデータの解釈、解析・評価の方法を理解する
- 【プログラム】**
- | | | | |
|-------------|------|-------|-----|
| 13:30～13:40 | 小澤邦寿 | 開会と挨拶 | 10分 |
| 13:40～14:10 | 谷口清州 | 講演 | 30分 |
| 14:10～15:10 | 島田智恵 | 講演 | 60分 |
| 15:10～15:20 | | 休憩 | 10分 |
| 15:20～16:50 | | 質疑応答 | 30分 |
| 16:00 | | 閉会 | |
- 【主催】** 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
地方衛生研究所における網羅的迅速検査法の確立と、その精度管理の実施、及び疫学機能の強化に関する研究
研究代表者 調恒明（山口県環境保健センター長）
研究分担者 小澤邦寿（群馬県衛生環境研究所長）
- 【後援】** 厚生労働科学研究費補助金（新興再興感染症研究事業）
国際的な感染症情報の収集、分析、提供機能及び我国の感染症サーベイランスシステムの改善・強化に関する研究
研究代表者 谷口清州（国立感染症研究所感染症情報センター第一室長）
研究分担者 神谷信行（東京都健康安全研究センター疫学情報室長）
多田有希（国立感染症研究所感染症情報センター第二室長）

地方感染症情報センターに対する 疫学研修の需要調査

若手のための疫学研修会へご参加いただきありがとうございます。

研修に対する需要やご希望を伺い、地方感染症情報センターの人材育成プログラム構築のための根拠を収集するために質問票調査を実施いたします（本研修も過去の調査で得られた需要やご希望を基に企画された研修会であることを申し添えます）。

大変お手数ですが、本研修会終了までに質問票へご回答いただきたくご協力をお願いします。

所属自治体名	都・道・府・県
所属	所属機関名 / 所属課
所属における職位	1. 所長 2. 部長 3. 課長 4. 係長 5. その他（ ）
氏名	
主な業務内容	1. 感染症情報センター業務 / 2. 感染症・食中毒関連の検査業務 3. 感染症・食中毒以外の疫学業務 / 4. 感染症・食中毒関連の事務業務 その他（ ）

地方感染症情報センターの疫学研修の需要調査

1 地方感染症情報センター担当者に対する人材育成研修の必要性について選択ください。(1つ選択)

- ア) 数時間の研修会を定期的を実施することが必要である
- イ) 体系的な人材育成コース (たとえば、国立保健医療科学院のウイルス研修のようなカリキュラムに基づく教育プログラム、) の設置が新たに必要であると思う
- ウ) 必要性はないと思う
- エ) その他

【質問1でお答えいただいた研修について】

2 地方感染症情報センター担当者に対する人材育成研修の頻度として適当なものを下より選択ください。(1つ選択)

- ア) 半年毎以上の頻度で実施する必要性があると思う
- イ) 毎年1回実施する必要性があると思う
- ウ) 隔年で実施する必要性があると思う
- エ) 実施する必要はないと思う

3 人材育成研修において疫学全般に係る研修に求める内容を選択ください。(複数回答可)

- ア) 疫学概論 (歴史、背景や考え方など)
- イ) 記述疫学
- ウ) 基本的な統計解析方法
- エ) 高度な統計解析方法
- オ) 統計解析ソフトの利用方法
- カ) 研修の必要性は感じないので求める事柄はない
- キ) その他

4 感染症サーベイランスについて研修に求める内容を選択ください。(複数回答可)

- ア) NESID の利用方法
- イ) 感染症発生動向調査 (全数・定点) の背景や目的
- ウ) データの解釈方法
- エ) データの解析方法
- オ) データの還元内容
- カ) 定点医療機関の評価方法
- キ) データの信頼性を向上させる方法
- ク) 感染症情報センターの業務や運用方法
- ケ) 積極的疫学調査の方法
- コ) 研修の必要性は感じないので求める事柄はない
- サ) その他 (自由記載)

5 どのような研修形態をご希望されますか? (1つ選択)

- ア) 講義形式
- イ) グループワーク形式
- ウ) 講義とグループワーク形式の双方
- エ) その他 (自由記載)

6 研修はどのような単位で実施することをご希望されますか? (1つ選択)

- ア) 自治体単位
- イ) 地域ブロック単位
- ウ) 全国一斉

7 研修で必要な日数はどのくらいが適当だと思われますか? (1つ選択)

- ア) 1日 イ) 2-3日 ウ) 1週間以内 エ) 2週間以内
 オ) 1ヶ月以内 カ) 半年以内 キ) 1年以内
 キ) その他 (自由記載)

8 研修を実施する場合、場所と時期のご希望を記載ください。

- A) 場所 (例; 感染研)

 B) 時期 (例; 年度始め、〇〇学会に併せて実施)

【他自治体における On the job training】

9 人材育成を目的として、先進的な疫学活動を実施している他自治体感染症情報センターの業務に参加すること (On the job training) についてご意見ください。(複数回答可)

- ア) 職員を参加させたい、かつ派遣可能である イ) 派遣期間や研修内容次第では、参加させたい
 ウ) 参加させたいが、現実的には派遣不可能 エ) 参加させたいが受け入れ先があるか疑問である
 オ) 参加させたいと思わない
 カ) その他

10 他自治体における OJT 形式の人材育成に職員を派遣する際に可能だと思われる期間を選択ください。(1つ選択)

- ア) 1日 イ) 数日 ウ) 1週間以内 エ) 2週間以内
 オ) 1ヶ月以内 カ) 半年以内 キ) 1年以内 ク) 期間にかかわらず派遣したいと思わない
 キ) その他 (自由記載)

【疫学に関する知識】

11 各実施方法の理解度について以下のア)ーエ) からご選択ください。(1つ選択)

- ア) よく理解している (教育可能) イ) 理解している (教育には自信がない)
 ウ) 少し理解している (まだ勉強が必要) エ) 理解していない

- A) 記述疫学の実施方法を理解していますか? 回答 _____
 B) 解析疫学の実施方法を理解していますか? 回答 _____
 C) 統計解析ソフトの利用方法を理解していますか? 回答 _____
 D) 実地疫学調査 (積極的疫学調査) の実施方法を理解していますか? 回答 _____

12 各項目の実施の可否について以下のア)ーエ) からご選択ください。(1つ選択)

- ア) 独自に実践 (利用) できる イ) 指導者がいれば実践 (利用) できる
 ウ) 実践できると思うが、不安である エ) 実践 (利用) できない

- A) 記述疫学を実践できますか? 回答 _____
 B) 解析疫学を実践できますか? 回答 _____
 C) 統計解析ソフトを利用できますか? 回答 _____
 D) 実地疫学調査 (積極的疫学調査) を実践できますか? 回答 _____

13 各項目の教育歴について以下のア)ーエ) からご選択ください。

- ア) 年に2回以上の頻度で担当している イ) 年に1回の頻度で担当している
ウ) 過去に担当したことがある エ) 担当したことはない

- A) 記述疫学の講義・教育（形式・規模は問いません）を担当したことはありますか？ 回答 _____
B) 解析疫学の講義・教育（形式・規模は問いません）を担当したことはありますか？ 回答 _____
C) 統計解析ソフトの講義・教育（形式・規模は問いません）を担当したことはありますか？ 回答 _____
D) 実地疫学調査（積極的疫学調査）の講義・教育（形式・規模は問いません）を担当したことはありますか？
回答 _____

14 平成 19-22 年度（本日の研修を除く）において、以下をテーマとした研修会やトレーニングコースを受講しましたか？（ア）受講した，イ）受講していないより選択してご回答ください。

- A) 疫学概論 回答 _____ 受講場所： _____
B) 記述疫学 回答 _____ 受講場所： _____
C) 解析疫学 回答 _____ 受講場所： _____
D) 統計解析ソフト 回答 _____ 受講場所： _____
E) 実地疫学調査 回答 _____ 受講場所： _____
F) 感染症サーベイランス 回答 _____ 受講場所： _____

15 地方感染症情報センター業務担当者に対する研修についてご意見ください。（自由記載）

16 本日の研修内容に対するご意見をご記載ください。

A) 谷口先生ご担当分

- | | | |
|-------|------------|----------------------|
| 内容 | ア) 期待以上 | イ) 期待どおり |
| | ウ) 期待とは異なる | （期待された内容を要望欄に記載ください） |
| 研修レベル | ア) 難しい | イ) 適当 ウ) やさしい |
| 理解度 | ア) よく理解できた | イ) 理解できた |
| | ウ) 少し理解できた | エ) 理解できなかった |
- 要望（自由記載）

B) 島田先生ご担当分

- | | | |
|-------|------------|----------------------|
| 内容 | ア) 期待以上 | イ) 期待どおり |
| | ウ) 期待とは異なる | （期待された内容を要望欄に記載ください） |
| 研修レベル | ア) 難しい | イ) 適当 ウ) やさしい |
| 理解度 | ア) よく理解できた | イ) 理解できた |
| | ウ) 少し理解できた | エ) 理解できなかった |
- 要望（自由記載）

平成 22 年 10 月 8 日

関係各位

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金
健康安全・危機管理対策総合研究事業
研究分担者 小澤邦寿
(群馬県衛生環境研究所長)

第 69 回日本公衆衛生学会自由集会
「感染症情報の現状と展望を考える会」開催のお知らせ

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

厚生労働科学研究費補助金事業の実施にあたっては、平素よりご協力頂き厚くお礼申し上げます。

さて、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業「地方衛生研究所における網羅的迅速検査法の確立と、その精度管理の実施、及び疫学機能の強化に関する研究」では、第 69 回日本公衆衛生学会における関連会議（自由集会）において、「感染症情報の現状と展望を考える会」を開催することになりました。地方感染症情報センター、保健所と本庁における取り組みを紹介いただき、感染症情報の有効活用および各機関の協力・連携方法等について意見交換を行います。

多くの方よりご参集頂きますようご案内申し上げます。

なお、本案内は地方衛生研究所と地方感染症情報センターのメーリングリストを用いて送付しております。保健所や本庁等の関係機関へもお知らせいただきたくよろしく願いいたします。

記

1. 日 時 平成 22 年 10 月 27 日（水） 18：30～20：30
2. 場 所 東京国際フォーラム G401 会場
東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号
3. 内 容 別紙リーフレットをご覧ください

以上

世話人 神谷信行 東京都健康安全研究センター 疫学情報室
鈴木智之 群馬県衛生環境研究所 感染制御センター

主催 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）地方衛生研究所における網羅的迅速検査法の確立と、その精度管理の実施、及び疫学機能の強化に関する研究 研究代表者 調恒明（山口県環境保健センター長） 研究分担者 小澤邦寿（群馬県衛生環境研究所長）

後援 厚生労働科学研究費補助金（新興再興感染症研究事業）国際的な感染症情報の収集、分析、提供機能及び我国の感染症サーベイランスシステムの改善・強化に関する研究
研究代表者 谷口清洲（国立感染症研究所感染症情報センター第一室長） 研究分担者 神谷信行（東京都健康安全研究センター疫学情報室長）

Ⅲ 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍:なし

雑誌:以下のとおり

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hasegawa, S., Matsushige, T., Inoue, H., Shirabe, K., Fukano, R., Ichiyama, T.	Serum and cerebrospinal fluid cytokine profile of patients with 2009 pandemic H1N1 influenza virus-associated encephalopathy	Cytokine			in press
Okuda M, Sugiyama S, Kunitsugu I, Hinoda Y, Okuda Y, Shirabe K, Yoshitake N, Hobara T.	Use of body mass index and percentage overweight cutoffs to screen Japanese children and adolescents for obesity-related risk factors	J Epidemiol.	20(1)	46-53	2010
Toda S, Kimura H, Noda M, Mizuta K, Matsumoto T, Suzuki E, Shirabe K.	Phylogenetic analysis of human metapneumovirus from children with acute respiratory infection in Yamaguchi, Japan, during summer 2009	Jpn J Infect Dis.	63(2)	139-40.	2010
Hasegawa S, Hirano R, Hashimoto K, Haneda Y, Shirabe K, Ichiyama T.	Characteristics of pandemic H1N1 influenza viral infection in atopic individuals Pandemic H1N1 influenza reveals "occult" asthma	Pediatric Allergy and Immunology			in press
Okuda M, Hinoda Y, Okayama N, Suehiro Y, Shirabe K, Sasaki S, Kunitsugu I, Yoshitake N, Hobara T	Association between the FTO gene and overweight in Japanese children and adolescents.	Pediatric Diabetes			in press
Kojima H, Sata F, Takeuchi S, Sueyoshi T, Nagai T.	Comparative study of human and mouse pregnane X receptor agonistic activity in 200 pesticides using in vitro reporter gene assays.	Toxicology			in press
Kanai Y, Boonsathorn N, Chittaganpitch M, Bai G, Li Y, Kase T, Takahashi K, Okuno Y, Jampangern W, Ikuta K, Sawanpanyalert P.	The impact of antigenic drift of influenza A virus human herd immunity: Sero-epidemiological study of H1N1 in healthy Thai population in 2009.	Vaccine	28(33)	5437-44.	2010
Yunoki M, Kubota- Koketsu R, Urayama T, Sasaki T, Analiwa D, Konoshima Y, Ideno S, Fukunaga Y, Morikawa S, Hiroi S, Takahashi K, Okuno Y, Hagiwara K, Ikuta K.	Significant neutralizing activity of human immunoglobulin preparations against pandemic 2009 H1N1.	Br J Haematol.	148(6)	953-5.	2010
Aoyama I, Uno K, Yumisashi T, Takasaki T, Lim CK, Kurane I, Kase T, Takahashi K.	A case of chikungunya fever imported from India to Japan, follow-up of specific IgM and IgG antibodies over a 6-month period.	Jpn J Infect Dis.	63(1)	Jun-65	2010 Jan
Tanaka H, Takino M, Sugita-konishi Y, Tanaka T, Leeman D, Toriba A, Hayakawa K,	Determination of Fusarium mycotoxins by liquid chromatography/tandem mass spectrometry coupled with immunoaffinity extraction	Rapid Communication s in Mass Spectrometry	24	2445- 2452	2010
Tanaka H, Takino M, Sugita-konishi Y, Tanaka T, Toriba A,	A survey of the occurrence of Fusarium mycotoxins in biscuits in Japan by using LC/MS,	J. Health Science	56	188-194	2010

Aoyama K, Nakajima M, Tabata S, Ishiguro E, Tanaka T, Sugiyama K, Sugita-Konishi Y, Kumagai S	Four-Year Surveillance for Ochratoxin A and Fumonisin in Retail Foods in Japan,	J. Food Protection	73	344-352	2010
Yoshizumi Y, Kimura H, Okayama Y, Nishina A, Noda M, Tsukagoshi H, Kozawa K, Kurabayashi M.	Relationships between cytokine profiles and signaling pathways in parainfluenza virus-infected lung fibroblasts.	Front in Virol			in press
Ishioka T, Kimura H, Kita H, Obuchi M, Hoshino H, Noda M, Nishina A, Kozawa K, Kato M.	Effects of respiratory syncytial virus infection and major basic protein derived from eosinophils in pulmonary alveolar epithelial cells (A549).	Cell Biol Int.			2010 Oct 27.
Tsukagoshi H, Masuda Y, Mizutani T, Mizuta K, Saitoh M, Morita Y, Nishina A, Kozawa K, Noda M, Ryo A, Kimura	Sequencing and phylogenetic analyses of Saffold cardiovirus (SAFV) genotype 3 isolates from children with upper respiratory infection in Gunma, Japan.	Jpn J Infect Dis.	63(5)	378-380	2010 Sep
吉村健清	公衆衛生行政の中の地方衛生研究所の位置付けとこれから	公衆衛生	74	262-263	2010

